

Typoon 16 Report
Kyusyu Miyazaki

てげな ポッコリ!

台風スウェルを追って
宮崎縦断チェック。

「てげなポッコリ!」の「てげ」とは宮崎弁で「濃く」という意味で、「ポッコリ」とはバククリとか全開といった意味だ。つまり今回の宮崎の波はそれほど素晴らしかったということだ。日南から北部エリアのシークレットブレイクまで、宮崎ローカルサーファーの協力で、台風16号のスウェルを隅々まで追うことができた。

◎文:川畑匠平 / いくらじょうじ / 清水雅裕
Story: Shohei Kawabata, Joezy Ikura, Masahiro Shimizu
◎キャプション: 木村真次 | ◎写真: 木本直哉
Caption: Shinji Kimura | Photos: Naoya Kimoto

てげな ボッコリ!

台風スウェルを追って
宮崎縦断チェック。



「日南リーフブレイク・セッション」

◎文：川畑匠平
Story: Shohei Kawabata

(見開き) 今回のセッションの中、何本ものビッグセットをリズムよくキャッチしていたJoezy. Joezy Ikura @ Ohura Right. (右頁・下) プロを辞退しアマでサーフィンを目指すユーイチ. Dr.K というリペアハウスをやりながら釣りやサーフィンと忙しく動き回る。ビッグウェイブから小波でのエアとマルチにこなす技巧派。Yuichi Kurogi @ Island. (上) 年の差を超越した仲の良さ。Koushi & Shohei. (下) Ohura Right.

とうとう待ちに待った台風がきた!

今年16個目にしてやっと宮崎にグランドスウェルが入ってきた。日本中のサーファー誰もが楽しみにしていたと思うが、それ以上に宮崎のサーファーは僕を含め、みんなが楽しみにしていた。

今年の台風は、最近の異常気象のせいかなかなか読めなかった。でも、いいウネリさえ入れば、いくらでも宮崎はいい波が上がる。そして、今回の台風は、僕の住む日南にとっては最高のフルコースが楽しめる南から北上してくる台風だった。

コウシさん(水元公志)からフォトグラファーのキンちゃん(日南)に来るとの連絡があったが、僕





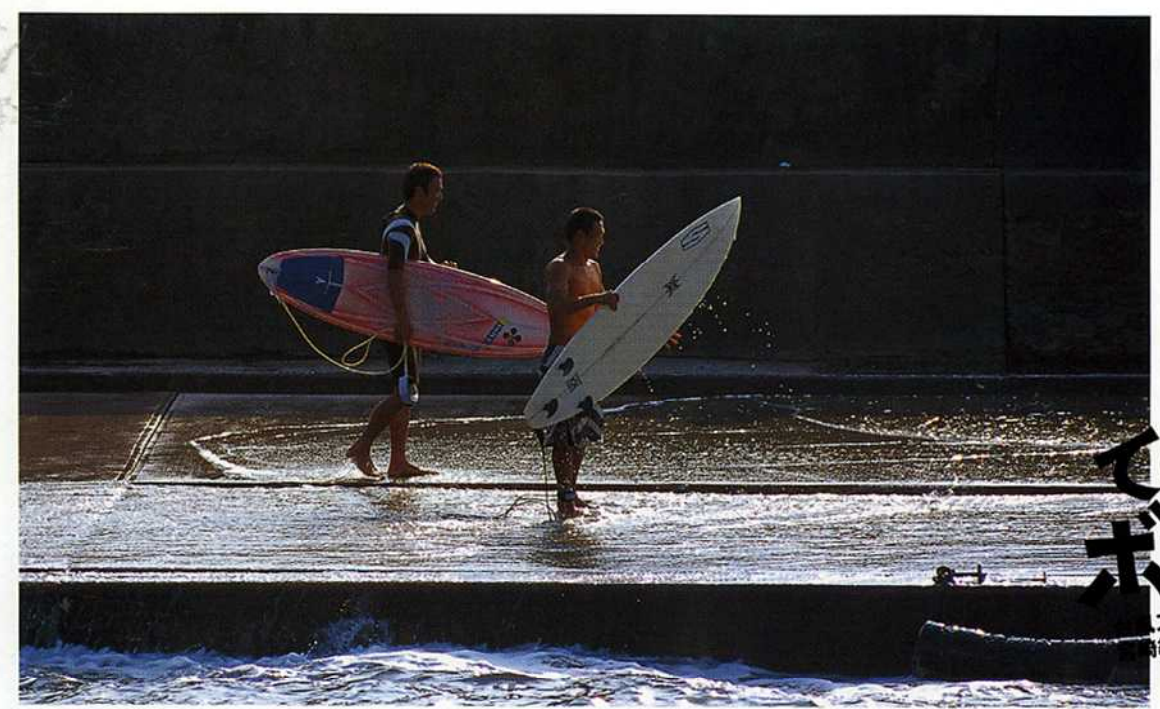
はスクールが入っていて、その日は青島の海水浴場に行かなければならなかった。スクールに行く途中、大浦でキンちゃんに遭遇。ついでにブレイクをチェックすると、はじめに入りだしたスウェルはやっぱり南だった。そこでキンちゃんの撮影初日は、朝からみんな大浦のレギュラーでやっらしい。一方、僕はというとスクールで青島の海水浴場にいたのだが、ふと気がつくと、隣にケンゴさん(中道謙吾)もいるではないか。ケンゴさんは「てげい〜、てげい〜。どこや? ウドや?」とかぶつぶつ言いながらライフセービングの講習を受けていた。

僕は昼からスクールをコウシさんに変わってもらい、鶴戸下で撮影クルーと合流することができた。コウシさん、ありがとうございます!

この時の鶴戸下は4~6ftくらいのドッカンって感じだった。鶴戸下は日南でも特に大切なポイントだ。ピークに「鬼の洗濯岩」があって、そこでいきなり波がダブルアップする。日南の人達はここのことを「ムニュー」って言うが、それはダブルアップを音でたとえると「ムニュー」って感じだからだ。

この「鬼の洗濯岩」は宮崎にしかない独特の岩の地形で天然記念物になっている。だったらここの

(最上)ここ日南のFly Tricky Guyのマップ。いつも予想つかぬライディングで今回のセッションもかなりかっ飛んでいた。Masaaki Ezaki。(上)川畑さんとともに朝一からエクセレントウェイブを乗りまくっていたところをシュートアウト。Good Moment! 最近娘ができて親バカ全開。ハッピーライフを送っている。Shinji Mizumoto。(下)コンテストシーンでもいい成績を残しているヒロ。パワーも増してメリハリのあるライディングをしている今後の彼に注目していきたい。Hiroto Umeno@Chookan。(見聞き)波が上がれば世界中どこでもハントしにいくな。メディアでの活躍の他、宮崎県北部、金ヶ浜を拠点にして日向エリアのサーフシーンにも貢献する。Satoshi Kubota@Island。(右頁・下)宮崎が誇るビッグウェイバーの二人。Satoshi & Kengo。



てげな
ボッコリ!
スウェルを追って
縦断チェック。